

岩手・大槌高生 向け奨学金制度

AMDA創設

国際医療ボランティア・AMD A(本部・岡山市)は30日、東日本大震災のため避難所になっている岩手県大槌町、大槌高の生徒向けに奨学金制度を創設することを決めた。

同高体育館ではAMD A関係者約10人が泊まり込みで診療活動中。現地スタッフの会議で話が持ち上がり、同高校長の賛同を得た。国際的視野を持つて医療分野で働く意志のある被災者を対象に長期支援する考えだが、人数や金額、期間など詳細は未定。

スマトラ沖地震(2004年)で被災し、AMD Aの支援を受けたインドネシアなど世界各地から寄せられた義援金を活用する。

AMD Aは「厳しい経験を糧に、同じような境遇になった人を助けようとする若者の気持ちを持ち大切に育てたい」としている。

(黒崎平雄)